



歴史・文化や仲間の大切さを学びました！

～6年生修学旅行11月20日(木)・21日(金)～

社会科や総合的な学習の時間に学習してきたことや学校生活を送るうえでのルールやマナー、そして、仲間との協力や集団行動の良さなど、6年間の学びを確かめるため、6年生が11月20日(木)・21日(金)の2日間、奈良・京都方面で修学旅行を行いました。

11月20日(木) 1日目

【出発～法隆寺に向けて】

集合時刻は午前7時。少し肌寒くはありましたが、風もなく穏やかな晴天に恵まれました。多くの保護者の皆様や教職員に見送られ、出発しました。バスの中では、近くの席の仲間との話を楽しんだり、事前に各班で考えてきたバスレクを楽しんだりするなど、移動の道中も楽しんでいました。名阪国道の天理の山を越えるころに、天理市内の町や山々の紅葉の様子が眼下に広がると、「すごくきれい!」と感嘆の声が上がっていました。



【法隆寺】

最初の目的地は、法隆寺です。目的地に近づき、塔の上にある相輪が見えてくると、子どもたちも「あれが五重塔かあ」と楽しみにしている様子が伝わってきました。法隆寺では、五重塔や金堂、廻廊、大宝蔵院などを見学し、各所でバスガイドさんからの説明をききながら、丁寧にメモを取る様子もありました。顔を見上げて眺める五重塔、実際に触れてみた廻廊の柱、玉虫厨子や聖徳太子の像、たくさんの仏像など、教科書で学んできたことを近くで見ることができました。



【平城宮跡～昼食～】

平城宮後では、710年に奈良に都が移された平城京の様子を VR シアターで見た後、昼食をとりました。出発が朝の早い時間だったこともあり、しっかり昼食をとっていました。



【奈良公園～東大寺】

午後は、奈良公園と東大寺の見学です。子どもたちは、公園の敷地に入ると、「たくさん鹿がいる!」「かわいい」といながら、鹿を見るたびに近くに寄っていききました。幸い、だれもしおりを食べられずに済みました。

公園内を歩きながら、まずは二月堂へ上がっていききました。途中、鐘楼(しゅろう)の鐘は、子どもたち全員がその下に入るほどの大きさで、子どもたちも鐘の中を見上げながら、通っていききました。お堂からは奈良の都が一望できるポイント。天気も良く、遠くまで見渡すことができ、子どもたちもしばらく眺めに浸っていました。



いよいよ東大寺の大仏殿に向かいます。遠くから見えた大仏殿の鷗尾(しび)が近くに見えてくると「こんなに大きいんだ」と驚いていました。中に入ると、正面には大仏の座像が見えます。大仏殿の大きさにも驚きましたが、「こんな大きな仏像をどうやって作るんだろう」と、学習はしてきていましたが、改めて考える場面もありました。大仏殿の端にある階段に興味をもったり、鼻の穴の大きさの柱をくぐり抜けたりと、それぞれに見学を楽しむことができました。



【清水寺～清水坂での班行動】

次の目的地は、清水寺です。奈良を後にし、京都へ向かいました。紅葉シーズンの清水寺周辺は、観光客の多さでごった返しています。バスから降り、昔の人々も参拝のために歩いたと言われている清水坂を上ると、夕焼けに染まった仁王門や三重塔、鐘楼などが、とてもきれいに見えました。

仏足石の説明をきいた後、弁慶の履いていたといわれる鉄の下駄や持っていた錫杖(しゃくじょう)を持ち上げようと、力を合わせましたが…持ち上がりませんでした(子どもたちが順番を待っていると、すぐ前の観光客の方が一人で錫杖を持ち上げました!子どもたちからは、自然と拍手が起こっていました)。清水の舞台からは、京都市内の様子を望みました。遠くには、ろうそくの形をした京都タワーが見えます。夕日とともに見える景色をしばらく眺めていました。



見学の後は、班別での買い物タイムです。子どもたちも楽しみにしていたようで、先生からの指示が終わると、班で声を掛け合って、すぐに出発しました。「これはお家の方へのお土産」「おじいちゃんやおばあちゃんにも買わないと」「習い事の友だちには、これがいいかな」とそれぞれに計画してきた買い物を楽しみました。はぐれないように班で声をかけながら買い物をしましたが、多くの班が上手に時間を使うことができました。

【旅館】

買い物が終わると、旅館です。一日の疲れを癒しながら、仲間とともにトランプなどのカードゲームをしたり、会話を楽しんだり、普段以上に、ゆっくりと過ごす時間を子どもたちなりに楽しむことができました。お世話になった旅館の方々には、代表の子どもたちが挨拶をしましたが、他の子どもたちからも自然と、「よろしくお願いします。」「ありがとうございました。」と挨拶の声が出ており、日ごろの意識が表れていることを実感しました。部屋で荷物を整理した後は、夕食でした。しっかりと歩いた分、たくさんいただくことができました。



11月21日(金)2日め

【西本願寺 朝の散策】

2日めも穏やかな晴天に恵まれ、とても気持ちの良いスタートとなりました。朝食をいただき、旅館での退館式を行った後、西本願寺の散策に出かけました。周りには主要な道路も通っており、朝の通勤で車などもたくさん通っていましたが、境内の中はとても静かでした。廊下を歩くと「きゅっ、きゅっ」という音をききながら、「昔はこれで敵が来たことがわかったのかな」と話している子もいました。お堂の様子や渡り廊下を歩きながら、その広さを実感するとともに、黄色くなった大銀杏の木や唐門を見ながら旅館へと戻りました。



【金閣寺】

旅館を出発し、次の目的地は金閣寺です。バスの中では、ガイドさんから3階建てのそれぞれの階で建築様式が違ふことや正式名称など、事前に見学のポイントや知識を教えてくださいました。幸い、思ったより観光客が少なかったため、班ごとに写真を撮ることもスムーズにできました。風が穏やかだったので、池に映る金閣の様子は、班ごとに持っているカメラで撮影をしていました。龍門滝や夕佳亭など、境内の様子も時間をかけてじっくりと見学できたことは、幸運でした。



【龍安寺】

次の目的地は、龍安寺です。参道や池の周りの木々の紅葉がとても美しく、秋の気配を感じながら、歩きました。2日めは、観光客や他校の修学旅行生との重なりも少なく、子どもたちの集合や整列も早かったため、それぞれの場所での見学や体験にゆっくりと時間をかけることができました。龍安寺では、有名な石庭を廊下に腰を掛けながらじっくりと眺めました。15個置かれた石は、どこから見ても14個しか見えません。事前の学習で子どもたちは「完璧な人間はいないことを表しているんだ」と調べてきたことを、実際に確かめていました。



【太秦映画村】

最後の目的地は、太秦映画村です。子どもたちもとても楽しみにしていた見学地の一つです。時間にも余裕があり、アトラクションを体験したり買い物をしたりと、時間たっぷりと十分に楽しむことができました。人気だったアトラクションは、お化け屋敷。「ものすごく怖かった」「目と耳を隠しながら通ったら、怖くなかったよ」と、それぞれに体験の感想を話しながら園内のいろいろな場所で楽しみました。一日めに買うことができなかったお土産も、しっかりと時間をとって買うことができたようです。



太秦映画村での活動を終え、帰路につきました。バスの中は、行きや移動中と打って変わり、静まり返っていました。2日間、しっかり楽しんだり学んだりした疲れが一気に出了ことでしょう。夢を見る間もなく、気が付いたら地区市民センターだったという子もいたようです。地区市民センターでは、保護者の方々にお迎えに来ていただき、子どもたち一人ひとりが、無事を伝え、お家へ帰りました。

出発式や解散式では、私から子どもたちに向け、この2日間の修学旅行を迎えることができたことや2日間、楽しく過ごすことができたことに対し、「感謝の気持ちを忘れないこと」という話をしました。感謝の気持ちを表す一番簡単な方法は、挨拶です。まずは、修学旅行を迎えるまでに準備や健康管理をさせていただいた保護者の皆様には、必ず第一声に「ただいま」と伝えることを約束しました。ほかにもこの2日間、運転手さんやバスガイドさん、添乗員の方、旅館の方々、各見学場所でお世話になった方々、そして先生方など、関わってくださった方々への感謝の気持ちとともに、学んだことや思い出を胸に、学校生活に活かしてほしいと思います。



最後になりましたが、保護者の皆様には、子どもたちにとって修学旅行が学び多き行事となるよう、送迎だけでなく、事前の準備やお子様の健康管理など、さまざまな面でご支援、ご協力をいただきました。改めまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

発見！水沢っ子の素敵な姿!!～修学旅行 ver.～

○バスでの移動中、天理の山を越えたら眼下に広がる天理市内の街並みと周りの山々の紅葉の様子を見て「ものすごくきれい!」と口々につぶやく声が上がりました。子どもたちの感性に、心が温まる瞬間でした。



○バスの乗り降りでは、必ず運転手さんとガイドさんに「よろしくお願いします。」「ありがとうございました。」と挨拶ができました。挨拶は、感謝の気持ちを伝えることができる素敵な言葉です。6年生の良さを感じました。

○バスの中で楽しく過ごすことができるように各班でバスレクを考えてきました。中でも、クイズを考えてきた班は、学習してきたことをクイズにしたり、テンポよく進めたりと、チームワークよく進めることができました。バスの中という場をイメージして、工夫をすることができたことがよいところでした。



○食事の時、お櫃に入ったご飯を、同じテーブルの仲間に取り分ける姿が見られました。自然とご飯を取り分ける姿は、宿泊行事ならではの、仲間とともに過ごすことを楽しむ姿だと感じました。

○部屋で過ごす子どもたち。トランプなどのカードゲームを楽しむ中で、「普段はあまりゆっくり話することがない子だけど、話してみるといろいろなことが知れてよかった。」と話す子もいました。学校とは違う場所で、仲間とともに過ごすからこそ、出てきた思いに感心しました。

(文責 岡本 浩樹)